

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年3月19日～3月23日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
3月19日	使用済保護衣等保管エリア(エル)の状況確認	使用済保護衣等保管エリア(エル)	<p>○使用済保護衣等保管エリア(エル)の状況を確認した。 当該エリアは、5・6号機建屋の西側に位置しており、東西に横長状に延びていた。コンテナは2～4段積みで整然と保管されており、延焼防止対策としてエリア北東側に消火器が2基配備されていた。エリアの占有率は、約8割を占めていた。 コンテナから廃棄物が飛散・流出等している様子は認められなかった。</p>	11時48分現在
3月20日	コンクリートポンプ車による注水訓練の状況確認	ろ過水タンク付近 3号機前高台	<p>○3月14日の予行演習に引き続き、コンクリートポンプ車を用いた3号機への注水訓練の状況を確認した。 固体廃棄物貯蔵庫第9棟西側では、予行演習と同様に、非常用炉注水ラインの固定ヘッダーにポンプを積んだヘッダー車を接続し、旧事務本館別館裏送水ヘッダーに向けて加圧していた。3号機南側では、予行演習と同様に、コンクリートポンプ車を配置し、アームを伸ばして3号機に注水する訓練を行っていた。訓練は13時30分頃に開始され、15時頃にコンクリートポンプ車のアームの先端が注水口に到達した。</p>	10時56分現在
3月22日	スキマーサージタンク内部点検の状況確認	5号機原子炉建屋5階(オペフロ)	<p>○3月22日にスキマーサージタンクの内部点検が実施されたことから、現場で主管Gに点検時の状況を聞き取り確認した。 主管Gによると、12時頃に仮設の門型クレーンでタンクのハッチを開け、タンク内にカメラを投入して約1時間確認した結果、タンク内に異物は見つからず、タンク底部のスクリーン及びタンク壁面にも異常は認められなかったとのことであった。確認時、ハッチが開放状態であったため、タンク上部から覗き込んだが、目視で確認した限りでは水面に異物はみられず、タンクの壁面にも変わった様子は認められなかった。</p>	10時18分現在
3月23日	1号機ミスト散水設備の再発防止対策の確認	—	<p>○平成30年2月8日に発生した1号機ミスト散水設備の空気圧縮機の不具合に対する再発防止対策について、主管Gから聞き取りした。 本事象の原因は、空気圧縮機内で潮風による塩分で錆が発生し、錆が逆止弁シートに付着したことによってシートリークが発生したとのことであった。事象発生前から空気圧縮機本体はモジュール内に格納されていたが、外気を吸引する過程で内部の逆止弁が錆びたとのことであった。現在は錆が生じた逆止弁を交換済みであり、今後は塩害対策用の設備を空気圧縮機の前段に設置するとのことであった。</p>	9時34分現在
	H5、H6タンクエリアの撤去配管の搬送先の確認	ガレキ一時保管エリアW1 ガレキ一時保管エリアX	<p>○H5・H6タンクエリアのRO濃縮水移送配管の保管状況を確認した。 エリアW1及びXには、当該配管を収容した鋼製の6m3コンテナが2～3段積みで数十基保管されていた。現場で目視した限り、コンテナから廃棄物が飛散・流出等している様子は認められなかった。</p>	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。